

かたのがはら 交野ヶ原物語 vol.10



発行日：令和3年(2021年)5月1日 発行元：天の川・交野ヶ原日本遺産プロジェクト

交野ヶ原 4コマまんが劇場

交野ヶ原にまつわる4コマまんがを交野市で活動されているきくつぺさんが描いてくださることになりました!!4コマまんがを通じて交野ヶ原のことをもっと好きになろう!!

『交野ヶ原物語』も10号目!! めてたいわ!! の巻



© NORIKO KIKUKAWA'S SPECIAL COMICS 2021・May.

★作者プロフィール★

きくつぺさん!!
グラフィックデザイナーとしてマス.
枚方で育ち、交野市在住。
枚方歴20年以上、交野歴20年以上。
まさに交野ヶ原びと!!
枚方 + 交野 = 交野ヶ原。
好きなことは空の写真を撮ること。
交野ヶ原の歴史を学ぶこと。
おもしろいことを探すこと。
交野ヶ原の魅力を伝えること。
交野ヶ原の魅力を伝えること。

第2回星の俳句コンテスト 募集開始!

昨年、コロナの影響で延期した「第2回星の俳句コンテスト」の作品募集が開始されました。募集期間は4月1日から5月31日まで!
①一般部門 ②中高生部門 ③小学生(幼児含む)部門と3部門を設け、幅広い年代の参加を呼びかけています。今年も七夕祭りが中止となったため、短冊ではなく、オンラインで俳句を投稿していただきます。表彰式は7月23日の星田妙見宮の星降祭からリモート配信します。



俳句投稿フォーム

オンライン七夕企画 「天の川で愛を叫ぶ!!」好評につき今年もやります!

コロナの影響で昨年の七夕関連イベントが中止となりました。そんな中、七夕の日に一年に一度、想いを通わせ合う彦星と織姫にあやかり、普段は面と向かつては言えない大切な人への感謝のメッセージをオンラインで募集しようという企画を行いました。今年は5月5日から募集を開始、先着77通限定で、七夕の日にエフエムひらかたの特別番組でメッセージを読みあげます!七夕当日は枚方ビオルネ入口のデジタルサイネージでも、メッセージ動画が流れます。



交野ヶ原交野節「百済王氏物語」

交野ヶ原交野節・おどり保存会が、百済王氏と交野ヶ原にまつわる物語を交野節に詠み込んだ「子ども向けの冊子」を作成しました。



『交野ヶ原物語』10号巻頭言

2016年4月に当プロジェクトが結成し、お陰様で丸5年が経過いたしました。大阪府の河内①の北、交野ヶ原②に伝わる歴史や文化を再結合し、日本まで大事にされてきた「調和」という価値観を、地域に住む人に上手に思い出してもらい③、次世代に伝えるため、様々な活動を行ってまいりました。その遙かな志を抱き、まずは文化庁の日本遺産④に認定されることを一つの目標としてまいりました。その日本遺産は2021年以降は新たなステージに入りました。104ヶ所ある、認定地の取組を評価し、入れ替え制が敷かれると、2020年末に発表されました。日本遺産の認定地を見ると、いずれも日本で大切にされてきた歴史や伝承、価値観を体現しているものです。例えば、百済寺跡が追加認定を目指す、東北の日本遺産「みちのくGOLD浪漫⑤」です。黄金の国ジパングの始まりとその変遷を地域の歴史や文化財とともに語っています。

交野ヶ原の日本遺産ストーリーのメインアクトは桓武天皇⑥です。大仏の輝き⑦の裏で、混迷を極めた奈良の都から千年の都⑧を切り拓くため、桓武天皇はこの場所を郊祀⑨を行うなど交野ヶ原は新しい時代の交差点となりました。

奇しくも、今も混迷の時代を迎えております。ただ、日本の歴史はこの混迷の時代を幾度となく超えた先人たちの努力によって、今日まで紡がれています。私たちの掲げる「天空の地上絵」⑩はまさに地上に星座を描きます。夜空の星々が時空を超えて輝かせる光が今日の夜空を彩り、私たちはその星の光を目印に、時にはそれらを繋ぎ、過去を振り返り未来を描きます。そうしている私たちもいずれは後世の星となり、この地に生きる人々の道しるべとなるよう、改めてこの5年を振り返り、次の5年にどういった「天空の地上絵」を描いていくのか。

今後とも一層、皆様のお力添えのほどよろしくお願ひ申し上げます。



～天空の地上絵を日本遺産へ～
天の川・交野ヶ原 プロジェクト
みなさまの「交野ヶ原」にまつわる記事・写真等お待ちしております!!
★問い合わせ★080-5339-3106(事務局)
katanogaharapj@gmail.com

『交野ヶ原物語』とは
私たち天の川・交野ヶ原日本遺産プロジェクトは、この交野ヶ原を、文化庁が認定する日本遺産へ申請登録を目指す活動を行っています。

日本遺産の申請・登録への道のりは長く険しいものです。念願叶い、日本遺産へ登録されたとしても、交野ヶ原に縁のある方々にとって、「他人事」であっては日本遺産の看板も意味がなくなってしまうのです。

私たちは、交野ヶ原をより生活の中で身近に感じてもらいたいと考え、「交野ヶ原物語」を刊行しました。交野ヶ原という場所が、交野ヶ原の過去・今・未来の時間軸、そして現代に生きる私たちの生活という横軸をつなぐ手を取りあう時を超えても、手に取りたい「交野ヶ原物語」を皆様と共に創り上げてまいります。

プロジェクト誕生秘話を語る！

当プロジェクトの発足の礎となった星田神社・星田妙見宮の
佐々木宮司、初代実行委員長難波秀哉氏、現実行委員長中野
一雄氏から、プロジェクトへの思いをご寄稿いただきました。

伝統文化の重み

星田妙見宮創建千二百年の奉祝祭が行われたのは、2016年でありました。

この妙見宮に私が参りましたから、三十数年が経過して参りました。この間、このお宮での多くの方々との交わりを通じ、歓び、悲しみ、それぞれの交わりが走馬灯の如く蘇ってまいりました。この星田妙見宮の創建から1200年という時の経過を考えた時、この鎮守の杜の存続維持に寄与された数多の人々の思いが、願いがひしひしと感ぜられました。その人々の思いを形にしなればと、日増しにそんな思いがつのり星田妙見宮創建千二百年の奉祝の御祭りをしようとして2011年より準備にとりかかりました。

そんな折に、縁をいただいたのが、スターダスト河内の皆さんでした。地域の盆踊りに若者の参加が少なくなっていくのを憂い、なんとかこの伝統文化を継承しなければと、盆踊りというそれぞれの地域の伝統文化を子どもたちに継承するとともに、子どもたちとともに創作舞踊にも取り組んでおられました。彼らに、星田妙見宮創建千二百年の奉祝に賛同していただき、どれほど多くのお力を戴いたか、今も忘れることが出来ません。

先人がつくりあげた交野が原

妙見宮が位置する交野市から枚方市を流れる天の川流域周辺は、「交野が原」と呼ばれる丘陵地です。この丘陵地は、多様な人々が古くから行き交う、歴史の交差点「クロスロード」でした。

ここに生きてきた人々にとつては、この大地が、生きるための尊い掛け替えのない生活の営みの場であり、そこに家族が火を囲み、村をつくりそして国が形作られてきました。この交野が原の大地には、幾世代にわたる人々が生きてきた人間の祈りがありました。人間の壮大なドラマがありました。そして歴史がつくられました。

暮色に染まる交野ヶ原を眺めていて、この景色は幾世代の人々によつて紡がれた景色に違いないと思つておりました。そして暁とともに交野ヶ原にまた日が昇り、一日の営みが始まる。神道では「中今(なかついま)」という言葉があります。今この瞬間に過去・現在・未来の全ての時系列の流れの真只中に生きている。そして全ての瞬間に、「中今」という永遠の中の今を、感謝とともに生き切る。この交野が原の大地に生かされているという実感。数多の人々の恩恵の中に生かされている。そんな実感を一人でも多くの人々と、天の川・交野ヶ原日本遺産プロジェクトを通じて共有したいものだと思っております。



顧問 佐々木久裕



中野委員長は現在体調を崩されているため、2018年に実施した交野ヶ原フェスタ321のご挨拶から文章をまとめさせていただきました。

枚方・交野に広がる交野ヶ原は、古事記以前の歴史を持つ地域でした。その後も時代と共に色々な表情を見せてきました。七夕伝説や天体と密に関係した様々な伝承が、今日まで伝えられています。先人たちが残してこられた交野ヶ原の歴史や文化・伝承は、日本にとつて、とても大事な事柄であり、場所であるといつても過言ではありません。

この交野ヶ原フェスタが枚方市と交野市の大きなイベントとして、これからも発展していく事を願っています。晴れを喜び、雨を喜び、そして、人々の幸せを願い、豊作を願って、祈りを捧げてきた交野ヶ原の先人の想いが、雨の形となって表れているのだと思います。交野は全国でも有数の美味しい水、綺麗な水の出る所です。今日は、そういった想いで、雨の中でのお祭りを先祖の皆さんは歓迎してくれているように思っています。そんな中で、雨に彩られたこの会場で、交野ヶ原フェスタが開催された事に大変、意義を感じています。どうか、今日一日は楽しんでいただきたい。雨を喜んで、雨の中でお祭りを楽しんでいただきたい。

現実行委員長 中野一雄



昭和30年に私は枚方市民病院で生まれました。高校までを枚方で過ごし、大学は上京。その後はメディアで定年まで仕事をし、その間、故郷枚方の事は気になりながらも外から見聞してはいました。

そして会社を卒業してから「何か故郷に貢献できることは無いか」と模索していたところ、ご縁の中で「天の川・交野ヶ原日本遺産プロジェクト」に出会い、貢献する事これに如くはなし、と僣越ながら委員長の役割を仰せつかった次第です。

具眼の士、多士済々の中で「このプロジェクトをどのように運営して行けば良いか？」まずは枚方と交野の歴史を学び、そこには決して他都市に負けない豊饒な資産が存在している事を再確認。

初代実行委員長 難波秀哉

『交野ヶ原物語』バックナンバー集



▲各巻の内容がPDFで閲覧可能!

本紙をお求めの方はお問合せください。1部100円のカンパをお願いします。

「交野ヶ原」の魅力を多くの方に知ってもらいたいという思いから発行開始したフリーペーパー、『交野ヶ原物語』。お蔭さまで、現在ではバックナンバーを問い合わせるお声もいただけるようになりました。ということで、既刊号と内容ダイジェストを一覧で掲載しました!

vol.3

2018.03

#特集「交野ヶ原アンケート結果」 #交野ヶ原フェスタ3・2・1 #交野の古墳 #片埜神社 #交野ヶ原の昔ばなし #雪鬼 #百済王氏

vol.2

2017.12

#特集「交野ヶ原アンケート中間報告」 #枚方市機関紙コンクール「サークル・同好会部門」最優秀賞 #中尾都山 #Self-Portrait

vol.1

2017.09

#創刊号 #天空の地上絵 #日本遺産 #交野ヶ原 #交野ヶ原のみんなで紡ぐカコイマ・ミライ #アテイル・モレ慰霊祭 #ライター募集

vol.6

2019.06

#特集「天空の地上絵@交野ヶ原」 #平成最後 #波沢栄一と京阪電車 #宮之阪商店街 #星田駅前商店 #Charmant coco #イベントレポ

vol.5

2018.10

#特集「鳥羽伏見の戦いと楠葉台場」 #明治150年 #くずはでいいものみつけ #クラウドファンディング #楠葉台場de盆踊り

vol.4

2018.06

#特集「交野ヶ原イベントマップ」 #天空の地上絵 #535年のミステリー #楠葉台場 #神道講話 #くらわんか舟 #天体伝承 #商店街

vol.Q(9)

2020.03

#特集「百済王氏の足跡」 #交野ヶ原の昔ばなし #枚方 #交野 #伝説 #天空の地上絵 #マイクツーリズム #地元の魅力 #ガイドブック

vol.8

2019.11

#特集「蒲谷町&枚方市お国自慢」 #百済王氏 #百済寺跡 #みちのくGOLD浪漫 #金 #目指せ日本遺産追加認定 #新商品開発 #枚方まつり

vol.7

2019.09

#特集「星の俳句コンテスト」 #増刊号 #受賞作品 #星田妙見宮 #表彰式 #夏石番矢 #七夕 #俳句 #審査員グランプリは宮城県小学生

商品開発 秘話



メイドイン交野ヶ原 かき氷シリーズ

①神宮寺ぶどうかき氷 (2016年7月 交野ヶ原フェスタ)
枚方凍氷の氷に、交野の神宮寺田中ぶどう園のぶどうシロップを合わせたかき氷。これ以降、定番のフレーバーとなりました。

②葦蜜氷 (よしみつごおり) (2018年6月 枚方まつり)
枚方の葦パウダーと交野のはちみつレモンを組み合わせで作られたかき氷。蜂蜜の甘さと葦の抹茶のような渋みが合わさり、調和のとれた深い味わいです。

③ずんだ餃子 (ずんだまいこ) (2019年8月 枚方まつり)
昔、小学校の給食で出ていたずんだが好きになれなかった青年部メンバーの1人が発案した一品。菓匠十久堂のずんだが練乳や氷と絡まり、枝豆の風味が口いっぱい広がるのが癖になります。最後はずんだシェイクとして楽しめます!

④交野テラ男 (かたのでらお) (2019年8月 枚方まつり)
神宮寺ぶどうのかき氷を更に美味しくできないかと、枚方市光善寺にあるDiningYさん監修のもと生み出された一品。神宮寺ぶどうシロップと氷を混ぜてフィズ(炭酸ジュース)となったことで、飲みやすく甘さがより際立っています。

⑤涌谷糍百濟 (わくやこうじくだら) (2019年8月 枚方まつり)
宮城県涌谷町とのコラボで生み出された一品。涌谷町名物の高栄養価の玄米「金のいぶき」から作られた甘糍「くがね甘露」をシロップとして使用。身体にやさしい甘さと糍の食感がたまらない「冷やし甘酒」になりました。

プロジェクト・コラボ商品

神宮寺ぶどうスイーツ

2017年7月 交野神宮寺田中ぶどう園と枚方牧野の「れんげそう」コラボスイーツを企画。枚方T-SITEにてスポット販売されました。



月の桂・新選組ハツピ

2018年「楠葉台場de盆踊り」を行った際、クラウドファンディングの返礼品で増田徳兵衛商店の「月の桂」にイベントオリジナルラベルを貼り送付。明治150年のロゴを入れた新撰組の法被や、楠葉台場の浮世絵のはがきも販売しました。

ヨシのお箸

アトリエMayの商品・天野川のヨシを粉末にして固めたお箸に、プロジェクトオリジナルの箸袋を作ってコラボしました。お箸は枚方ビオルネ 3階 KURAWANKAで販売中!

セルポストカード

プロジェクトメンバーが撮影した、枚方・交野の綺麗な自然や景色を背景に、交野ヶ原のアーティスト「Self-Portrait」さんの歌詞をカードに載せたオリジナルポストカードとなっています。

缶バッジ・ミサンガ

交野ヶ原の映える風景写真の缶バッジ(現在9種類)と天空色の糸で編まれた手作りミサンガ。プロジェクト主催イベントで販売しているのでぜひゲットしてください!

菊花酒


大門酒造の日本酒「利休梅」に食用菊を浮かべた菊花酒。菊の花は、滋賀県の「坂本菊」や宮城県「もってのほか」を使用。2020年の重陽の節句には涌谷町から菊を取り寄せ。

お味噌汁・じゃがバター

2017年天の川とんどまつりにて、交野の水「星のしずく、きらり」と北村味噌を合わせ「交野ヶ原のお味噌汁」を、「カタノノチカラ」ブランドのじゃがいも「交野ルビー」でじゃがバターを提供しました。

ポストカード・缶バッジ・ミサンガ・お箸は購入可能です。購入ご希望の際は事務局までお問合せください。

そもそも日本遺産って何? 私たちが目指すもの

日本遺産とは
文化庁が認定する、文化財や伝統文化を通じて地域活性化を図るため、地域に伝わるストーリーでそれらをパッケージ化し、活用する取り組み。詳しくはQRコードより。


日本遺産を通じて日本を思う
日本遺産の魅力は、地元や故郷を通じて日本を大切にしたいと思う気持ちや皆さんの間で強まることだと考えています。イベントなどで日本遺産のことをお話ししながら、交野ヶ原のストーリーのことを伝えるとき、皆さん、一緒に目を輝かせ、次の休みの日に交野ヶ原の他のスポットへ出かけてみようとおっしゃってください。

2018年に行われた、一般社団法人フットゥラデザインウォオのアンケート調査によると、日本遺産に対して感じる価値として、「日本の良さや日本人としての誇りを再認識できる」(41.6%)、「地元や故郷を大切にしたいという気持ちが強まる」(30.4%)が上がっていました。

価値観を伝えるストーリーたち
日本遺産のストーリーはいずれも、地域で大事にされてきた価値観

を伝えていきます。価値観を持つストーリーとは例えるならば、私たちが両親や祖父母から寝る前に聞かされた昔話や童謡、近所の方から教えてもらったお話などです。それらは、いずれもストーリーの中に価値観を持っていました。

現代においては、多様な価値観が注目され、一見それらのストーリーは古臭いものとして感じられがちです。しかし、人々が生きる土地や時代が持つ「通奏低音」とも言える価値観が間違いなく存在しています。日々の生活に追われ、目に見えるものや形あるものを優先的に扱ってきた現代人にとって、その「通奏低音」を思いだすには想像力を要するようになりまし。その想像力を働かせるきっかけや補助具がまさに、日本遺産のストーリーです。

「交野ヶ原」のストーリーの中心
「交野ヶ原」のストーリーの中心は、夜空に輝く星たちへの想いです。平城京から長岡京へと遷都した、桓武天皇は、この地で新しい時代を天帝である北極星に報告する郊祀を行いました。

奇しくも平城京の輝きを今日にまで伝える東大寺の大仏の黄金を産出した百済王敬福の一族が、30年ほど前に氏寺を創建したのも同じここ、交野ヶ原でした。ちなみに、桓武天皇が遷都を決めた要因の一つとして、東大寺を中心とした、寺院勢力の強まりが挙げられます。道鏡事件で皇室が揺れたことも大きかったと言えるかもしれません。そのた

め、桓武天皇は、新しい時代の仏教に力を入れます。そして、比叡山と並ぶ霊場として開かれたのが高野山でした。この高野山を開くにあたり、空海は西暦816年に朝廷から赦しを得ます。その同年、交野ヶ原に星を降らせました。今も、京都と高野山を結ぶ東高野街道が交野ヶ原を通っています。京都と高野山を空海が往復する際に、交野ヶ原へ立ち寄ったのかもしれない。

そうした、転換期の歴史を振り返ると、夜空に輝く星たちへ思いを託し、一つの役割を担ったのが、交野ヶ原だったといえます。

今を生きる私たちの描く「天空の地上絵」
私たちは、交野ヶ原のそうしたストーリーを「天空の地上絵」として、ブランディングしていこうと思っています。夜空を思い浮かべてみてください。そこには大小、様々な星が輝いています。それぞれは点在していますが、古来、人間はその星々を繋ぎ、星座として色々な意味を見出しました。また、星の動きから自然の動きなどを読み取り、生活や文化の中にも生かしてきました。私たちが今得ている、生活や文化の豊かさは夜空をながめ、色々なことを考えてきた先人たちの思いの上にあるともいえます。

地上に住む、私たち一人ひとりはもちろん、自然や建物なども全て星といえます。それらを繋いだ星座や

めざせ追加認定
交野ヶ原から広がるストーリー!

令和元年度、宮城県涌谷町を中心とする5市町が日本遺産「みちのくGOLD浪漫」に認定されました。

奈良時代、日本で初めて陸奥国涌谷で金を産出した人物こそが「百済王敬福」であり、その功績が聖武天皇に認められ、河内守に昇進し、一族の氏寺である百済寺の建立につながりました。

「金」をご縁として、百済寺跡を「みちのくGOLD浪漫」のサブストーリーとしての追加認定を目指そうと、現在、宮城県涌谷町との交流を深め、お互いの歴史や文化を盛り上げていこうと市民レベルから活動しています。

みちのくGOLD浪漫 日本遺産ストーリー

